

「第3期横浜市障害者プラン改訂版」原案について

趣旨

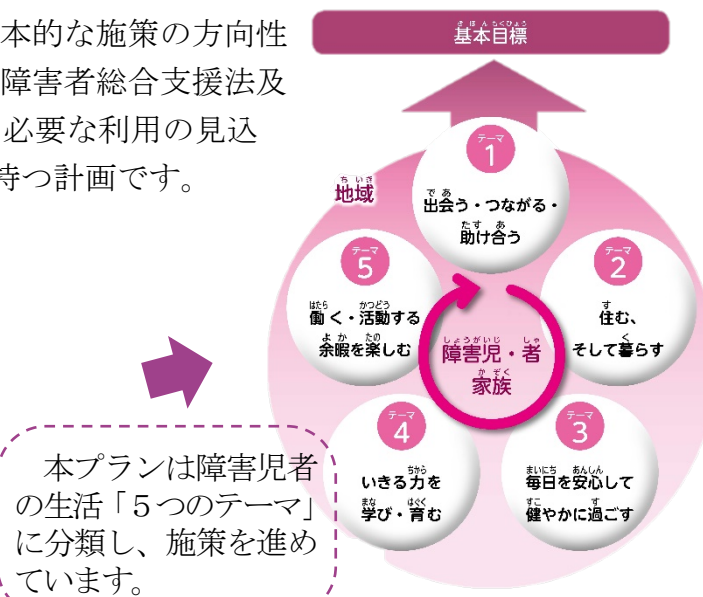
本市では、平成 27 年度から平成 32 年度までを計画期間とする「第3期横浜市障害者プラン」を策定し、「自己選択・自己決定のもと住み慣れた地域で、安心して、学び・育ち・暮らしていくことができるまち、ヨコハマを目指す」を基本目標に掲げ、障害福祉施策を進めています。この度3年が経過するため、市民意見募集等を経て中間見直しを行い、「第3期横浜市障害者プラン改訂版」原案を作成しました。

1 障害者プランの構成

本プランは、障害者基本法に基づき本市における障害者に関する基本的な施策の方向性及びその実現のために必要な個別の事業等を定める「障害者計画」と障害者総合支援法及び児童福祉法に基づき円滑にサービス提供が進むようサービスごとに必要な利用の見込み量等を定める「障害福祉計画」「障害児福祉計画」の二つの性質を持つ計画です。

○ 障害者プランの構成図

第3期障害者プラン		該当法定計画
H27年度～H29年度	H30年度～H32年度	
施策の方向性		障害者計画
個別事業		
サービス利用の見込み量	サービス利用の見込み量	障害福祉計画
	うち、障害児の見込み量	障害児福祉計画 (H30年度～)



本プランは障害児者の生活「5つのテーマ」に分類し、施策を進めています。

【参考】横浜市障害者手帳等の推移

本市人口における障害者手帳所持者数の割合は、平成 25 年の「3.89%」から平成 29 年の「4.28%」へと 0.39 ポイント上昇しています。今後もこの割合は増加する見込みです。

	H25	H27	H29
横浜市人口	3,693,788 人	3,712,170 人	3,728,124 人
手帳所持者数	143,657 人	152,852 人	159,563 人
割合	3.89%	4.12%	4.28%
身体障害者手帳	96,114 人	99,120 人	99,356 人
愛の手帳(療育手帳)	23,005 人	25,447 人	27,958 人
精神障害者保健福祉手帳	24,538 人	28,285 人	32,249 人

(3月末時点。ただし「横浜市人口」のみ4月1日時点)

2 「中間見直し詳細版」から、新たにプランに反映した取組(抜粋)

右表は、平成 30 年度予算等で明確になった内容や、昨年 9 月の市民意見募集でお示した「中間見直し詳細版」から、当事者・家族・関係団体等の御意見を踏まえ、新たにプランに反映した取組です。

また、平成 30 年 4 月の障害者総合支援法及び児童福祉法の一部改正に伴い、平成 30 年度から新たに法定サービスとなる「自立生活援助(P80)」「居宅訪問型児童発達支援【こども青少年局】(P114)」「就労定着支援(P142)」等のサービスごとに必要な見込み量を設定しました。

取組	プラン上の事業名	取組内容
1-2 相談支援	計画相談支援事業	障害福祉サービスを利用する全ての方に、計画相談支援によるきめ細かい相談支援が提供できるよう、体制の整備と事業所の人材育成・確保支援などの取組を推進。
2-1 住まい	公立障害者支援施設の再整備の検討	松風学園の入居者の居住環境改善のため、個室化等の設計を進め、同園敷地に入所施設を整備する基本構想に着手。
	精神障害者地域移行・定着支援	精神科病院等の長期入院者患者の早期退院を図るため、一部の生活支援センターで実施している精神障害者地域移行・定着支援事業(退院サポート事業)を18区に拡大予定。うち、平成30年度は3区拡大し15区で実施予定。
2-2 暮らし	精神障害者生活支援センターの運営	精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築に向け、A型センター(指定管理者方式)とB型センター(補助金方式)のサービスの標準化に向け、B型センター機能を強化。
	地域生活支援拠点の整備	居住支援機能として、障害者の生活を地域全体で支えるサービス提供を図るため、モデル実施として2区の基幹相談支援センターである法人型地域活動ホームにコーディネーターを配置。
3-1 健康・医療	医療的ケア児・者等に対する関連分野の支援を調整するコーディネーターの配置	医療・福祉・教育など多分野にまたがる支援を調整するコーディネーターを平成30年度養成、31年度配置。(こども青少年局・健康福祉局・医療局・教育委員会事務局・4局連携事業)
3-2 バリアフリー	ユニバーサルデザインタクシー導入促進事業	車いすに乗ったまま乗車できるユニバーサルデザインタクシー導入費用の助成台数を大幅に増やし、タクシー車両のバリアフリー化を促進。
4-2 教育	特別支援学校の再編整備【教育委員会事務局】	肢体不自由児の教育環境等の向上のため、左近山特別支援学校の整備工事に着手し、北綱島特別支援学校を上菅田特別支援学校の分校へと移行。
5-5 文化・スポーツ・レク	障害者スポーツ文化センターの整備及び運営	文化・スポーツ活動の場や機会を充実させるため「ラポール上大岡(仮称)」を南部方面に整備。

へいせい
平成 27 年度 ~ 32 年度まで
ねん ど
ねん ど

だい き
第 3 期

しょう がい しゃ ぶ ら ん
障害者プラン

かいていばん
改訂版 (原案)
こども青少年局部分抜粋



へいせい ねん がつ
平成 30 年 4 月

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねん ど 平成29年度		ひょうか 評価	へいせい ねん ど 平成32年度	
		もく 目	ひょう 標		げん 現	じょう 状
しょうがいじしせつ 障害児施設の せいび さいせいび 整備・再整備 (あ)	<p>しよかん しよめ じゅうしょうしんしんしょうがいじ し 市所管3か所目の重症心身障害児施 せつ せいび ろうきゅうか すず 設を整備するとともに、老朽化が進んで しょうがいじにゆうしよせつ さいせいび ゆにっと いる障害児入所施設の再整備・ユニット か すず 化を進めます。</p> <p><振り返り> へいせい ねん ど ふくし がたしょうがいじにゆうしよし ・平成27年度に福祉型障害児入所施 せつ 「ぶどうのみ きゅうしらねがくえん じどうりょう 設「ぶどうの実(旧白根学園児童寮)」 さいせいび かんりよう の再整備を完了しました。</p> <p>じゅうしょうしんしんしょうがいじしやせつ ・重症心身障害児者施設について よこはま医療福祉センター港南 へいせい 「横浜医療福祉センター港南」を平成 ねん がつ かいしよ よこはまりょういくいりょうせん 28年6月に開所、「横浜療育医療セン たー へいせい ねん ど さいせいびかんりよう ター」を平成28年度に再整備完了しま した。</p> <p>へいせい ねん ど きゅう ・平成29年度には「ぽらいと・えき(旧 よこはまし きがくえん さいせいび かんりよう 横浜市なしの木学園)」の再整備を完了 する予定です。</p>	こうじかんりよう 工事完了 4か所	こうじかんりよう 工事完了 4か所	○	しせつじょうきょう 施設状況 とう けんとう 等により検討	
こうりつしょうがいしゃしえんし 公立障害者支援施設 せつ よこはまししょうふうかく 設(横浜市松風学 えん さいせいび けんとう 園)の再整備の検討	<p>しょうがいしゃしえんしせつ よこはまししょうふうかく 障害者支援施設である横浜市松風学 えん にな やくわり もと きのう 園の担うべき役割や求められる機能につ いて、けんしょう さいせいび けんとう いて、検証しながら、再整備を検討しま す。</p> <p><振り返り> にゅうきよしゃ きょじゅうかんきょうかいぜん こしつ 入居者の居住環境改善のため個室 かどう せつけい すず どうえんしきち 化等の設計を進めるとともに、同園敷地 いちぶ かつよう にゅうしよせつ せいび の一部を活用して入所施設を整備する ため、きほんこうそう ちゃくしゆ けつてい ため、基本構想に着手することを決定 しました。</p>	すいしん 推進	けんとう 検討	○	こしつかとう り 個室化等の利 ようかんきょう せつ 用環境や設 び かいぜんおよ 備の改善及び しんにゆうしよせつ 新入所施設 こうじじつし の工事実施	

福児【目標】

	へいせい ねん ど 平成27年度		へいせい ねん ど 平成28年度		へいせい ねん ど 平成29年度		へいせい ねん ど 平成30年度		へいせい ねん ど 平成31年度		へいせい ねん ど 平成32年度	
しせつにゆうしょしえん 施設入所支援 りようにんずつ つき (利用人数/月)	1,530	にん 人	1,523	にん 人	1,515	にん 人	1,485	にん 人	1,475	にん 人	1,465	にん 人
	実績: 1,510	にん 人	実績: 1,494	にん 人	実績: 1,487 (実績見込み)	にん 人						
ふくしがたしょうがいじ 福祉型障害児 にゆうしょしえん り 入所支援(利 ようじどうすう つき 用児童数/月)	148	にんぶん 人分	168	にんぶん 人分	168	にんぶん 人分	190	にんぶん 人分	190	にんぶん 人分	190	にんぶん 人分
	実績: 150	にんぶん 人分	実績: 154	にんぶん 人分	実績: 164 (実績見込み)	にんぶん 人分						
いりょうがたしょうがいじ 医療型障害児 にゆうしょしえん り 入所支援(利 ようじどうすう つき 用児童数/月)	78	にんぶん 人分	88	にんぶん 人分	88	にんぶん 人分	87	にんぶん 人分	87	にんぶん 人分	87	にんぶん 人分
	実績: 76	にんぶん 人分	実績: 85	にんぶん 人分	実績: 87 (実績見込み)	にんぶん 人分						
しゅくはくがたじりつ 宿泊型自立 くんれん 訓練 りようにんずつ つき (利用人数/月)	2,516	にんにちぶん 人日分	2,516	にんにちぶん 人日分	2,516	にんにちぶん 人日分	2,516	にんにちぶん 人日分	2,516	にんにちぶん 人日分	2,516	にんにちぶん 人日分
	実績: 2,430	にんにちぶん 人日分	実績: 2,443	にんにちぶん 人日分	実績: 2,447 (実績見込み)	にんにちぶん 人日分						
	96	にんぶん 人分	96	にんぶん 人分	96	にんぶん 人分	96	にんぶん 人分	96	にんぶん 人分	96	にんぶん 人分
	実績: 89	にんぶん 人分	実績: 92	にんぶん 人分	実績: 90 (実績見込み)	にんぶん 人分						
りょうようかいご 療養介護	189	にんぶん 人分	295	にんぶん 人分	295	にんぶん 人分	281	にんぶん 人分	281	にんぶん 人分	281	にんぶん 人分
	実績: 197	にんぶん 人分	実績: 225	にんぶん 人分	実績: 233 (実績見込み)	にんぶん 人分						

※ 施設入所支援は、旧身体障害者更生施設を除く。

▶ 18歳以上の障害児施設入所者の障害者支援施設及び地域への移行

…児童福祉法の改正に伴い、18歳以上の障害児施設入所者は、平成29年度末まで
に退所する必要があります。18歳以上の入所者の障害者支援施設やグループホームへ
の移行を促進します。

※ ただし、国より考え方が示され、期限を3年間延長し、平成32年度末までと
することとなりました。

【目標】18歳以上の障害児施設入所者の障害者支援施設及び地域への移行												
	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
18歳以上の入所者の移行人数	28人	28人	29人	7人	7人	6人						
	実績:17人	実績:24人	(実績見込み)									
移行予定対象人数	57人	29人	0人	13人	6人	0人						
	実績:51人	実績:27人	(実績見込み)									

▶入院中の精神障害者の地域生活への移行

…入院中の精神障害者の地域生活への移行を推進します。

現在実施している地域移行や地域定着のための施策を着実に推進するとともに、退院支援に携わる医療従事者及び地域援助事業者等を対象とした研修など、長期入院者の退院促進に資する取組も新たに進めます。また、長期入院者の実態や退院に向けた課題の把握も行いつつ、必要に応じて新たな施策についても検討します。

○精神障害者地域移行・地域定着支援（市事業：退院サポート事業）

精神科病院との協働活動を通じた連携体制の構築や、障害者総合支援法の「地域移行支援」の利用に至らない方への退院の動機付け、退院後のフォロー等を行い、地域移行及び定着を支援します。

【目標】精神障害者地域移行・地域定着支援事業（市事業：退院サポート事業）

	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
個別支援対象者数（人/年）	70人	70人	70人	89人	93人	97人						
	実績:79人	実績:83人	(実績見込み)									
実施事業所数 新規	9カ所	11カ所	12カ所	15カ所	18カ所	18カ所						

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねんど 平成29年度		ひょうか 評価	へいせい ねんど 平成32年度	
		もく 目	ひょう 標		げん 現	じょう 状
めでい かるしょーとす メディカルショートス ていしすてむ ティシステム ㊦	いりょうてき けあ ひつよう じゅうしょうしんしんしょうがい 医療的ケアが必要な重症心身障害 じしゃ ざいたく かいご かぞく ふたん 児・者を、在宅で介護する家族の負担 けいげん ざいたくせいかつ あんてい もくてき 軽減と在宅生活の安定を目的として、 いちじてき ざいたくせいかつ こんなん ばあい 一時的に在宅生活が困難となった場合 などに、びょういん う い じっし 病院での受け入れを実施しま す。 <ふ かえ 振り返り> じぎょうかいし へいせい ねんど へいせい ねんど 事業開始の平成24年度から平成28年度 までのりようとうろくしゃすう にん りようの 登録者数212人、利用延べ にんずう にん りようの にっすう にち 人数366人、利用延べ日数は2,805日 で、そのうち、かぞく しっぺい りよう 家族の疾病による利用は 120人でした。	すいしん 推進	じっし 実施	○	すいしん 推進	
せいしんしょうがいしゃ かぞく 精神障害者の家族 しえんじぎょう 支援事業 ㊦	せいしんしょうがいしゃ かぞく (きせつ) かんがい 精神障害者とその家族が適切な関係 たち きんきゅうたいざいばしょ じゅんび を保つため、緊急滞在場所を準備する とともに、かぞく せいしんしつかん 家族が精神疾患について理 かい ふか きかい ていきょう 解を深める機会を提供します。 <ふ かえ 振り返り> へいせい ねんど じぜんとうろく かいし じ 平成29年度から事前登録を開始し、事 ぎょう りよう 業がより利用しやすくなりました。	すいしん 推進	じっし 実施	○	すいしん 推進	



医療的ケア児・者の現状と今後の取組について

医療の発展により、胃ろうや人工呼吸器など医療的ケアを日常的に必要とする障害児・者が増加しています。国の「在宅医療ケアが必要な子どもに関する調査」では、医療的ケア児の主な介護者の睡眠時間が、「6時間未満か6時間程度」が6割で、かつ「断続的に取っている」、「看護見守りのための時間的拘束に係る負担がある」と8割の方が回答をしています。また、医療的ケア児の約6割の方が、障害福祉サービスを利用されていないとの調査結果となっています。

本市においても、医療と福祉等を総合的かつ一貫して相談・調整できる専門的な支援者がいない、医療的ケアが対応可能なサービス等を、介護を行っている御家族が探し、必ずしも利用できていない、また近隣の医療機関の受診を希望しても、障害や医療的ケアが分からない、診たことがないことを理由に、風邪や予防接種の受診が困難であるとの課題があります。

そうした中、国では平成28年に障害者総合支援法及び児童福祉法の一部が改正され、医療的ケア児支援のための体制整備が規定されました。

本市では、こうした現状を踏まえ、医療的ケア児・者のライフステージに応じた在宅生活を支援するため、医療・福祉・教育分野等の支援を総合的に相談・調整できるコーディネーターを養成し配置します。また地域における生活を支援するため、医療的ケアが対応可能な医療・福祉・教育分野の受入れ体制の充実に取り組んでいきます。

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねんど 平成29年度		ひょうか 評価	へいせい ねんど 平成32年度	
		もく 目	ひょう 標		もく 目	ひょう 標
いりようじゅうじしゃけんしゅう 医療従事者研修 じぎょう 事業 ㊦	しつぺい しょうがい しょうにおよ じゅうしょうしん 疾病や障害のある小児及び重症心 しんしょうがいじ しゃ しえん ひつよう ちしま ぎじゅつ 身障害児・者の支援に必要な知識・技術 こうじょう はか しょうがいとくせい りかい い の向上を図り、障害特性を理解した医 りようじゅうじしゃ いくせい けんしゅう じつ 療従事者を育成するための研修を実 し 施します。 ふ かえ <振り返り> いりようきかん ふくし しせつとう きんむ かんごし 医療機関や福祉施設等に勤務する看護師を たいしょう しょうにほうもんかんご じゅうしょうしんしん 対象に「小児訪問看護・重症心身 しょうがいじしゃけんしゅう まいねんどじっし 障害児者研修」を毎年度実施していま す。	すいしん 推進	じっし 実施	○	すいしん 推進	
しょうがいふくししせつとう 障害福祉施設等で はたら かんごし しえん 働く看護師の支援 ㊦	しょうがいふくししせつとう はたら かんごし ていちゃく 障害福祉施設等で働く看護師の定着 む しえん おこな かくほ に向けた支援を行うとともに、確保の ほうさく けんとう 方策について検討します。 ふ かえ <振り返り> しゃかいふくしほうじんがたちかつほー むとう しかいし 社会福祉法人型地活ホーム等に歯科医師 はけん しよくじばめん しょうがいふくし を派遣し、食事場面において、障害福祉の けんぱ そく じよげんしどう けんしゅう じっし 現場に即した助言指導や研修を実施し ています。また、しゃかいふくしほうじんがたちかつほー む たきのうがたきよてん はたら かんごし や多機能型拠点で働く看護師を たいしょう かいぎ かいさい かだい きょうゆう 対象とした会議を開催し、課題の共有 ねっとわーく おこな やネットワークづくりを行っています。	すいしん 推進	じっし 実施	○	すいしん 推進	
じゅうどしょうがいしゃとう 重度障害者等 にゅういんじこみゆにけ 入院時コミュニケー ション支援事業 ㊦	にゅういんさきいりようきかん いし かんごしとう 入院先医療機関の医師・看護師等との いしそつう じゅうぶん はか しょうがいじ しゃ 意思疎通が十分に図れない障害児・者 たいしょう にゅういんさき こみゆにけーしょ を対象に、入院先にコミュニケーショ ん しえんいん はけん ン支援員を派遣します。 ふ かえ <振り返り> へいせい ねんどじっせき 平成27年度実績 はけんけんすう けん そうはけんじかん じかん 派遣件数：47件、総派遣時間：995時間 へいせい ねんどじっせき 平成28年度実績 はけんけんすう けん そうはけんじかん じ 派遣件数：67件、総派遣時間：1,081時 かん 間	すいしん 推進	へいせい ねんど 平成29年度 はけんけんすう 派遣件数 ：40件 みこ (見込み) そうはけんじかん 総派遣時間 ：1,080時間 みこ (見込み)	○	すいしん 推進	

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねんど 平成29年度		ひょうか 評価	へいせい ねんど 平成32年度	
		もく 目	ひょう 標		げん 現	じょう 状
いりょうきかんれんけいじぎょう 医療機関連携事業 ㊤	しょうがいじ しゃ みちか ちいき てきせつ いりょう 障害児・者が身近な地域で適切な医療が う 受けられる環 境づくりを推進するため しょうがいとくせいとう りかい てきせつ いりょう てい 障害特性等を理解し適切な医療を提 きょう 供できる医療機関を増やします。 <ふ かえ 振り返り> ちてきしょうがいしゃせんもんがいらい びょういん かいせつ 知的障害者専門外来を、4 病院で開設 しました。また、市内医療 提供施設の医 りょうじゅうじしゃ たいしょう いりょうあんぜん 療 従事者を対象とした「医療安全 けんしゅうかい 研修会」において、障 害者支援に係る こうえん おこな 講演を行いました。	すいしん 推進		びょういん かい 4 病院で開 せつ 設 みこ (見込み)	○	すいしん 推進
めでいかるしょーと メディカルショート すていしすてむ ステイシステム 【再掲】 ㊤	いりょうてきけ あ ひつよう じゅうしょうしんしんしょうがい 医療的ケアが必要な 重 症 心身 障 害 じ しゃ ざいたく かいご かぞく ふたんけいげん 児・者を、在宅で介護する家族の負担軽減 ざいたくせいかつ あんてい もくてき いちじてき と在宅生活の安定を目的として、一時的 ざいたくせいかつ こんなん ばあい に在宅生活が困難となった場合などに びょういん うけいれ じっし 病院での受入れを実施します。 <ふ かえ 振り返り> じぎょうかいし へいせい ねんど へいせい ねん 事業 開始の平成24年度から平成28年 ど りょうとうろくしゃすう にん りょうの 度までの利用登録者数212人、利用延べ にんずう にん りょうの にっすう にち 人数366人、利用延べ日数は2,805日で、 そのうち、かぞく しつべい りょう 家族の疾病による利用は 120 にん 人でした。	すいしん 推進		じっし 実施	○	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねんど 平成29年度		ひょうか 評価	へいせい ねんど 平成32年度	
		もく 目	ひょう 標		げん 現	じょう 状
ざいたくりようようじ ちいき 在宅療養児の地域 せいかつ ささ 生活を支える ねっとわーくれんらくかい ネットワーク連絡会	しょうがいじ しゃ いりょう にゅういん ざいたく かか 障害児・者の医療（入院・在宅）に関 わり医療関係者を中心に、福祉・教育 かんけいしゃ たいしょう ざいたくしえん ひつよう 関係者を対象として、在宅支援に必要 じょうほうこうかん じんてきこうりゅう つう しょう な情報交換や人的交流を通じて、障 がいりかい そくしん 害理解を促進します。 ふ かえ <振り返り> いりょうかんけいしゃ ちゅうしん しょうがいじ しゃ 医療関係者が中心となり、障害児・者 せいかつ ささ うえ かだいおよ とりくみとう の生活を支える上での課題及び取組等 じょうほうこうかん じっし しえん そくしん の情報交換などを実施し、支援の促進 つと に努めました。 たしよくしゆれんけい べんきょうかい じっせき 多職種連携の勉強会の実績 へいせい ねんど かい さんかしゃ にん 平成27年度：2回、参加者647人 へいせい ねんど かい さんかしゃ にん 平成28年度：2回、参加者337人	すいしん 推進	じっし 実施	○	すいしん 推進	
いりょうきかんねっと 医療機関ネット わーくとう こうちく ワーク等の構築	しょうがいじ しゃ ざいたくせいかつ ささ 障害児・者の在宅生活を支えるための いりょうきかん しえんたいせい ねっとわーく 医療機関の支援体制とネットワークを けんとう こうちく ほか 検討し、構築を図ります。 ふ かえ <振り返り> じゅうしんしょうがいじ しゃ ひつよう い 重心障害児・者が必要としている医 りょうとう はあく あんけーとちようさ 療等を把握するためのアンケート調査 へいせい ねんど じっし にん を平成28年度に実施しました。(860人 かいとう 回答) けっか かつよう せいしょうねんきょく この結果を活用し、こども青少年局、 けんこうふくしきょく いりょうきょく かんけい きょく こう 健康福祉局、医療局の関係3局で構 せい ちやうないかいぎ せつち いりょうてきけ あ 成する庁内会議を設置し、医療的ケア よう しょうがいじ しゃ せいかつ ささ を要する障害児・者の生活を支えるため しえんたいせい こうちく けんとう の支援体制の構築を検討しています。	じったいはあくおよ 実態把握及 いりょうねっと び医療ネット わーくけんとう ワーク検討と こうちく 構築	けんとう 検討	○	すいしん 推進	

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねんど 平成29年度		ひょうか 評価	へいせい ねんど 平成32年度	
		もく 目	ひょう 標		けん 現	じょう 状
しかほけんいりよう 歯科保健医療 すいしんじぎょう 推進事業 しんしんしょうがいじ しゃ (心身障害児・者 歯科診療)	しかしんりよう きがい めぐ しんしんしょう 歯科診療の機会に恵まれない心身障 がいじ しゃ たい しかちりよう かくほ ひ 害児・者に対する歯科治療の確保を、引 つづ つか き続き、図ります。 <ふりかえり> よこはまし しかほけんいりようせん たーしんしんしょう 横浜市歯科保健医療センター心身障 がいじ しゃし しかしんりようけんすう 害児・者歯科診療件数 へいせい ねん けん 平成27年 9,773件 へいせい ねん けん 平成28年 9,797件 よこはまし しんしんしょうがいじ しゃし しかしんりようじぎょう 横浜市心身障害児者歯科診療事業 きょうりよくいりようきかん 協力医療機関 210か所 (平成29年3月末)	すいしん 推進	へいせい ねんど 平成29年度 しかしんりよう 歯科診療 けんすう 件数 :9,545件 みこ (見込み)、 へいせい ねんど 平成29年度 きょうりよくいりよう 協力医療 きかん 機関 :210か所 みこ (見込み)	○	すいしん 推進	
いりようてきけ あじ しゃとう 医療的ケア児・者等 しえん かんけいき の支援のための関係機 かん きょうぎ ば せっち 関の協議の場の設置 しんき 新規	いりようてきけ あじ しゃとう てきせつ しえん う 医療的ケア児・者等が適切な支援を受 けられるよう、へいせい ねんどまつ 平成30年度末までに、保 けん いりよう しょうがいふくし ほいく きょういくとう 健・医療・障害福祉・保育・教育等の かんけいきかん れんけい はか きょうぎ ば 関係機関が連携を図るための協議の場 を設置します。	—	—	—	すいしん 推進	

⑧ 【見込み】

	へいせい ねんど 平成30年度	へいせい ねんど 平成31年度	へいせい ねんど 平成32年度
いりようてきけ あじ しゃとう たい かんれんぶんや しえん 医療的ケア児・者等に対する関連分野の支援を ちようせい こーでいねーたー はいち 調整するコーディネーターの配置 しんき 新規	じゅんび 準備	1 人	1 人

こーでいねーたー ぐたいてきやくわり
コーディネーターの具体的役割

かぜ よぼうせっしゅ ばあい しゅじいがい いりようてきけ あじ しゃ たいおう かのう ちいき いりよう
 風邪や予防接種などの場合に、主治医以外でも、医療的ケア児・者の対応が可能な地域の医療
 きかん あんない いりよう ふくしおよ きょういく たぶんや しえん ちようせい やくわり
 機関を案内したり、医療、福祉及び教育などの多分野にまたがる支援を調整するなどの役割
 にな
 を担います。

とりくみ りょういく
取組4-1 療育

げんじょう とりくみ ほうこうせい
現状と取組の方向性

ちいきりょういくせんたー ひじょう にーず たが じゅうよう しゃかいしげん ひつよう りょういく
地域療育センターは、非常にニーズが高く重要な社会資源です。必要なときに療育を
う ちいきりょういくせんたー きのう じゅうじつ じゅうよう
受けられるためには、地域療育センターの機能の充実が重要です。

そこで、しょうがいじ かぞく ちいき なか あんてい せいかつ おく みずか ちから せいかつ き
そこで、障害児とその家族が、地域の中で安定した生活を送り、自らの力で生活を切り
ひら こんご けいぞく ちいきりょういくせんたー きのうきょうか さまざま ふくし
開いていくことができるよう、今後も継続して地域療育センターの機能強化や、様々な福祉
さーびす じゅうじつ ほか ひ つづ がくれいき しょうがいじ たい こべつしえん しゅうだんかつどう
サービスの充実を図ります。また、引き続き学齢期の障害児に対する個別支援や集団活動
しえん すいしん
支援を推進します。

し さく
施策

そうきりょういくたいせい じゅうじつ
早期療育体制の充実

そうだんしえんたいせい しょうがいじそうだん かくりつ しゅうち
▶相談支援体制（障害児相談）の確立と周知

げんざい そうだんしえんきかん やくわりおよ いちづ せいり おこな ちいきりょういくせんたー ちゅうしん
…現在の相談支援機関の役割及び位置付けの整理を行い、地域療育センターを中心と
しょうがいじ かぞく たい ほんにん じりつ みす そうだんしえんたいせい かくりつ めざ
した、障害児とその家族に対する本人の自立も見据えた相談支援体制の確立を目指し
ます。

く じょうきょう ふ くじりつしえんきょうぎかい れんけい そうだんしえんたいせい しゅうち
さらに、区の状況を踏まえながら区自立支援協議会と連携し、相談支援体制の周知
すす
を進めます。

⑧【目標】

	へいせい ねんど 平成27年度	へいせい ねんど 平成28年度	へいせい ねんど 平成29年度	へいせい ねんど 平成30年度	へいせい ねんど 平成31年度	へいせい ねんど 平成32年度
しょうがいじそうだん 障害児相談	4,000 人	4,500 人	5,000 人	5,700 人	6,400 人	7,000 人
	実績: 1,771 人	実績: 2,630 人	3,950 人 実績見込み			

じどうはつたつしえんたいせい かくりつ
▶ 児童発達支援体制の確立

ちいきりょういくせんたー …地域療育センターにおいて、初診までの期間を短縮するとともに、利用申込みを受け
た際は、できるだけ速やかに面談を実施し、そこから支援を開始する相談体制を構築
します。切れ目のない支援に向けても、保育所、幼稚園、学校及び自主的な活動であ
る地域訓練会などとの連携強化を進めます。

また、医学的な診断に基づく「療育」に加えて、児童の主体性を大事にし自らの育つ
力を支える「発達支援」、家族に寄り添い子育ての力を高める「家族支援」、そして、地域
で成長していくことを支える「地域支援」を、包括的に進めます。

さらに、地域療育センターが中心的役割を担い、民間事業者が実施する未就学児に対
する療育を目的としたサービスの提供を、質・量ともに充実するための仕組みを構築し
ます。

また、引き続き、障害児の保護者等が自主的に活動している地域訓練会の運営に対
する支援を行います。

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねんど 平成29年度		ひょうか 評価	へいせい ねんど 平成32年度	
		もく 目	ひょう 標		げん 現	じょう 状
ちいきりょういくせんたー 地域療育センター うんえいじぎょう 運営事業	しょうがい …障害がある、またはその疑いのある児 童の地域における療育体制の充実な どを目的として運営を行います。 また、くぶくしほけんせんたー …区福祉保健センターの療育相談 へのスタッフ派遣、関係機関への巡回 訪問による技術支援、障害児相談支援 等を行います。 <振り返り> しょうしん …初診の申込件数が多い西部及び東部地 域療育センターの相談場所を拡充し、 支援の円滑化を図ることで、平成28年度 末で初診待機期間は 3.2月となりました。	しょうしんたいききかん 初診待機期間 3.0月 (現状 3.5 月)	へいせい ねんど 平成29年度 3.0月 (見込み)	○	すいしん 推進	

事業名	事業内容	平成29年度		評価	平成32年度	
		目標	現状		目標	現状
ちいきくんれんかいうんえいひ 地域訓練会運営費 じよせいじぎょう 助成事業	しょうがいじ ほごしゃとう じしゆてき そしき ちいき 障害児の保護者等が自主的に組織し、地域 きのうかいふくくんれん ほいく おこな ちいき で機能回復訓練や保育を行う、地域 くんれんかい うんえいひ じよせい 訓練会の運営費を助成します。 <ふ かえ> ちいきくんれんかい さんか じどう げんしょうけいこう 地域訓練会の参加児童は減少傾向にあ りますが、当事者力や地域力を高める とうじしゃりよく ちいきりよく たか 活動であり、参加促進や参加しやすい工 かつどう さんか もくしん さんか く 夫が必要です。 じよせいじつせき 【助成実績】 へいせい ねんど だんたい 平成27年度：57団体 へいせい ねんど だんたい 平成28年度：56団体	すいしん 推進 げんじょう (現状69 だんたい 団体)	すいしん 推進	○	すいしん 推進	

● 保育所等訪問支援・巡回訪問

保育所等を訪問し、当該施設を利用する障害児を中心に、集団生活への適応のための専門的な支援等を行います。

● 児童発達支援・医療型児童発達支援

学齢前の障害児に日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練（及び治療）等を行います。

⑧ 【目標】

	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
保育所等 訪問支 援・巡 回訪問	1,500	人	1,500	人	1,750	人	1,775	人	1,850	人	1,950	人
	実績: 1,497	人	実績: 1,653	人	1,680 (実績見込み)	人						
	11,000	人日	11,000	人日	14,000	人日	14,500	人日	15,000	人日	17,000	人日
	実績: 10,169	人日	実績: 10,371	人日	11,500 (実績見込み)	人日						

⑧【目標】

	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
児童発達支援 ※	49	か所	52	か所	55	か所	100	か所	110	か所	120	か所
	実績: 53	か所	実績: 77	か所	92 (実績見込み)	か所						
	—		—		—		2,800	人	3,100	人	3,400	人
	133,000	人日	141,000	人日	149,000	人日						
	実績: 159,562	人日	実績: 176,280	人日	201,000 (実績見込み)	人日	229,000	人日	252,000	人日	275,000	人日
うち、主に重症心身障害児を支援する事業所 新規							2	か所	3	か所	4	か所
	—		—		—		10	人	15	人	20	人
							600	人日	900	人日	1,200	人日
医療型児童発達支援 ※	9	か所	9	か所	9	か所	9	か所	9	か所	9	か所
	実績: 9	か所	実績: 9	か所	9 (実績見込み)	か所						
	—		—		—		190	人	190	人	190	人
	19,000	人日	19,000	人日	19,000	人日						
	実績: 20,953	人日	実績: 18,849	人日	19,000 (実績見込み)	人日	19,000	人日	19,000	人日	19,000	人日

※ いずれも地域療育センター実施分を含む

●居宅訪問型児童発達支援

重度の障害等のため外出することが著しく困難な障害児の居宅を訪問して発達支援を行います。

⑨【目標】

	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
居宅訪問型児童発達支援 新規	—		—		—		—	か所	1	か所	1	か所
	—		—		—		—	人	10	人	10	人
	—		—		—		—	人日分	100	人日分	100	人日分

⑧【目標】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
子ども・子育て支援等 (保育所、放課後児童健全育成事業等) における障害児の受入れ体制の整備 新規	—	—	—	関係機関と連携し、子ども・子育て支援等(保育所、放課後児童健全育成事業等)へ、保育所等訪問支援、巡回訪問及び研修等を拡充することにより、利用を希望する障害児の受入れ体制の整備を引き続き推進していきます。		

学齢障害児の支援の充実

▶ 放課後等における居場所の充実

…学齢期の障害児を対象に、放課後や夏休みなどに、のびのびと過ごしながらか療育訓練や余暇支援を受けられる居場所の確保を進めます。

また、引き続き放課後キッズクラブ等、放課後児童育成事業における受入れも推進します。

さらに、放課後等デイサービス事業所に対し研修を実施する等、障害児支援の質の向上に向けた取組を充実します。

● 放課後等デイサービス事業

就学している障害児に、放課後や長期休暇中において、生活能力の向上のために必要な訓練や社会との交流促進の活動等を行います。

⑨【目標】

	へいせい ねんど 平成27年度		へいせい ねんど 平成28年度		へいせい ねんど 平成29年度		へいせい ねんど 平成30年度		へいせい ねんど 平成31年度		へいせい ねんど 平成32年度	
ほうかごとう 放課後等 でいさーび デイサービ すじぎょう 事業	130	しょ カ所	165	しょ カ所	200	しょ カ所	300	しょ カ所	350	しょ カ所	400	しょ カ所
	実績:162	しょ カ所	実績:217	しょ カ所	262 (実績見込み)	しょ カ所						
	—		—		—		6,000	にん 人	7,000	にん 人	8,000	にん 人
	229,000	にんにち 人日	298,000	にんにち 人日	368,000	にんにち 人日	720,000	にんにち 人日	840,000	にんにち 人日	960,000	にんにち 人日
	実績:350,782	にんにち 人日	実績:521,130	にんにち 人日	656,000 (実績見込み)	にんにち 人日						
うち、主 に重症 心身 障害児を 支援する 事業所 新規	—		—		—		10	しょ カ所	11	しょ カ所	12	しょ カ所
—		—		—		150	にん 人	165	にん 人	180	にん 人	
—		—		—		14,400	にんにち 人日	15,840	にんにち 人日	17,280	にんにち 人日	

ちゅうがっこうきこう そうだんしえん かくじゅう
▶ 中学校期以降の相談支援の拡充

がくれいこうき おも はったつしょうがい じどう あんてい せいじんき わか せいかつじょう
…学齢後期で主に発達障害のある児童が、安定した成人期を迎えられるよう、生活上
かだい かいけつ む とりくみ きょうか
の課題の解決に向けた取組を強化します。

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	へいせい ねんど 平成29年度		ひょうか 評価	へいせい ねんど 平成32年度	
		もく 目	ひょう 標		げん 現	じょう 状
がくれいこうきしょうがいじし 学齢後期障害児支 えんじぎょう 援事業	いし そーしゃるわーかーどう すたっふ 医師、ソーシャルワーカー等のスタッフ はいち がくれいこうき しゅ はったつしょう を配置し、学齢後期の主として発達障 がい じどう たいしょう ししゅんき 害のある児童を対象として、思春期に おけるそれぞれの課題の解決に向けた診 りょう そうだんおよ かんけいき かん ちょうせいとう 療、相談及び関係機関との調整等を おこな 行います。 ふ かせ <振り返り> そうだんたいおうのべけんすう そう かいこう 相談対応延件数は増加傾向にあり、4 か所目の事業実施を検討しました。 へいせい ねんど 平成27年度： しんきりようしゃ にん 新規利用者:1,193人 そうだんたいおうのべけんすう けん 相談対応延件数:13,077件 へいせい ねんど 平成28年度： しんきりようしゃ にん 新規利用者:1,022人 そうだんたいおうのべけんすう けん 相談対応延件数:14,739件	4か所 げんじょう (現状3か 所)	3か所	△	4か所	

しょうがいじ りょういくし えんたいせい
障害児の療育支援体制



※図の中において 実線で囲われたところは機関を表し、その中の点線で囲われた部分は、事業を表します。各機関がライフステージの中で連携をとり、支援を実施します。